

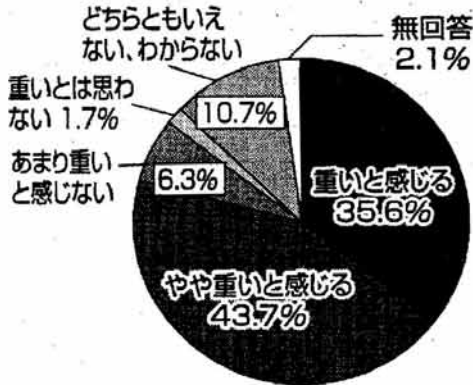
医療負担「重い」8割

企業のサラリーマンが加入する健保組合の連合組織、健康保険組合連合会が行った「医療に関する国民意識調査」の結果が、このほど公表されました。

企業に「重いと感じる」との回答が増加しています。また、来年四月実施予定の後期高齢者医療制度について、「内容などを

健保連が意識調査

医療にかかる負担 8割が「重い」



健康保険組合連合会調べ

詳しく知っている」という人はわずか2.5%でした。「名前だけ知っている」が21.9%、「知らない」が74.3%もあり、ほとんど知られていない現状が明らかになりました。

調査は今年九月、全国二人への郵送によるアンケートの発送・回収によって行ったもの。回収数は千二百六十三人（回収率63.2%）で、国保や共済などの加入者も含んでいます。

それによると、医療費にかかわる国民負担（保険料・税金・患者負担）について、「重い」35.6%、「やや重い」43.7%で、あわせて八割近くに上ることが分かりました。一九九八年の調査と比較べ、「窓口負担」については33.9%から48.2%に、「保険料」については54.9%から62.2%

後期高齢者制度 「知らない」7割超